

ふたかみ NEWS プチトマト

はばたきアネックス 完成！！



昨年より建設していた、生活耕房はばたきアネックス(グループホーム2か所)、地域交流スペース「ふらっと」の建物が完成です！！ホームの名前も「ハミング」(男性)と「ハーモニー」(女性)に決まりました♪
ふたかみ福祉会の「かがやくいのちを大切にする社会をめざします」の理念のもと、楽しく1人1人が暮らしの主人公となれるよう、ゆっくりですが事業をすすめていきたいと思ひます。(関口な)

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0856 大阪府羽曳野市白鳥3-16-1 木村ビル4階 TEL 072-959-3221 FAX 072-957-1604

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



100年こむく葡萄とワインの記念祭

たくさんの方に「これかわいい!」、「カフェにも行きます」と嬉しい声もいただきました。実際に商品を手に取っていただき、お客さまとお話していくのはやっぱり楽しい!これから、お客様とのふれあいも大切にしていきたいと改めて感じました。ご来場いただいたお客様、温かく迎えていただいた関係者の方ありがとうございました。(西岡)



このまちで暮らしたい
「障害者生活耕房」(グループホーム)
—建設募金のお願い—

2022年6月open!!
新しい暮らしを支える拠点として…

建設募金へのご協力よろしくお願い致します。

◆郵便振替◆

【口座番号】00950-3-225417

【加入者名】社会福祉法人ふたかみ福祉会

◆銀行からゆうちょ振込◆

【金融機関コード】9900 【店番】099 【預金種目】当座

【店名】〇九九店(ゼロキユウキユウ店) 【口座番号】0225417

ハピバール
6月の予定

貸し切り⇒6日(月)午前
定休日⇒水曜日、日曜日
11日(土) 25日(土)
カフェのインスタグラム
⇒@cafe-hapibar.com

お問い合わせ先
072-958-3232

■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

【2022年度4月】

・荻野好美 上戸将博 森義彦 梁誠一 古川量子 畑英作 丹羽久子 那須勝行 上峠通男 新田金次
山本和美 奈倉克枝 塩野貴司 平岡俊雄 安井敏雄 谷秀樹 川井哲二 川原茂登志 西田佐知子
井ノ内康史 松本茂樹 森慶一 古谷章 安藤操 佐野省三 松永匠 ……以上5口

・細川直幸 ……以上4口

・加藤紀子 ……以上2口

・城裕久子 長井吉久 山口元子 石田陽喜 森美栄子 渡辺朋幸 寺田恒 中筋美弥子 竹田雅典
竹田由美子 高木晶美 中川裕子 細井聡子 ……以上1口

※2021年度10月後援会費に記載漏れがありました。大変申し訳ありませんでした。

小林千重子様 1口

■寄附……寺村美知子様

■アルミ缶回収(4月分) ……1,008 kg

ありがとうございました。

◆2022年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では新しいグループホームがオープンしました。

引き続き、皆様の日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費:1口3,000円 団体会費:1口10,000円】 郵便振替口座:00940-5-325894

4月6日(水)にハピボールにて、第45回国会請願署名の請願内容について利用者(なかまの皆さん)と学び、共有する場を設けさせてもらいました。近年のコロナ禍の影響により、例年取り組んでいた街頭署名活動法人内通称「がんばるデー」が2年間開催されていないこともあり、なかまが署名に関わる機会が少なくなっています。何より当事者の願いを託した署名であるだけに、職員関係者はもちろんですが、なかまの皆さんのご理解があつての署名活動であるべきだとも考えます。皆さんに署名活動にどのような形で参加してもらおうのか課題としてありましたが、毎年取り組んでいる署名にはどういったことが盛り込まれているのか、身近な問題に絡めて少しでも知ってもらおうと担当者で話し合った上で、今回の学習会の実施となりました。

当日は担当者2名でハピボールに伺い、コロナ禍で事業所の売上げが減少したことに対する補填を訴

える項目を採り上げました。全国的に利用者に支払われる工賃が下がっているケースがあることに触れて、他人事ではなく実際にハピボールにおいても外部での販売機会が減っており、ボーナスの支給額にも影響がでるかもしれない点を改めて確認しました。コロナ禍で今まで出来ていたことが出来なくなっているのが目で見て理解しやすいように、過去にハピボールのメンバーが街頭署名活動に取り組んでいる際の写真や、外部の販売の様子、取り組みの写真をプリントしたものを用いました。また学習用のパンフレットを資料として用いました。なかま一人一人が署名用紙に自分の名前を記入する時間を作り終となりました。

今回の国会請願署名活動は5月末までに全日程を終了いたしました。ご協力してくださった皆様、誠にありがとうございました。(東)

3月12日に案居楽業ゼミナール「尊厳ある、生き生きした暮らしをーコロナ危機で何を大切にするのかー」に参加しました。ゼミの中で大阪府にある梅の里ホームと神奈川県にあるグリーンツリーから実践報告がありました。

梅の里ホームではコロナ禍への対応やなかまの暮らしについての報告がなされ具体的に、感染症対策委員会を発足し発熱者の対応やゾーニングの検討、防護服着用や感染症対応についての研修などに取り組んできたことが報告されました。なかまの暮らしは集団での食事から個食に変更し外出、面会の制限など外部との交流や社会参加の機会が減る中で、創作活動やレクリエーションなど施設の中でも楽しめるよう工夫をしながら取り組みを行ってきたとの報告がありました。

グリーンツリーからは生活保護を受け一人暮らしをしているなかまのサポートを通して感じた色々な困難やそれを乗り越えたなかまの姿について報告がありました。

障害程度が軽く生活スキルが高い人でも、金銭管理や、年金や保護の手続き、生活保護ゆえに居住地の選択肢が狭まること等多くの壁や困難があったというお話が特に印象に残っています。またグループホーム施策は障害者総合支援法の見直しの中で国から利用期限を限定した通過型グループホームの制度が提案されている状況にあります。本来なら、まずは地域生活ができる環境を整える必要があると経験を通して話をされており、制度が変わることで利用するなかまや関係者の暮らしにどのような影響があるのか当事者の一人としてしっかりと見極めていく必要があると改めて考えさせられました。

今回は2003での開催で全国の事業所の職員と意見交流する機会もありました。コロナ禍での暮らしや制度の変化など難しい対応が求められる状況は続きますが、これらの課題や今後の希望について共有しあえたことを実践にいかしていきたいと思います。(田邊ゆ)

ゆったり班・まーち班 合同企画 道の駅スタンプラリーの旅

新年度が始まり2か月が経ちました。昨年同様、コロナ禍で外出が出来ない日が続いていますが、なかまがコロナ禍でもやりがいを持ちながら何か出来ることはないかを職員間で考えた結果、今年度よりゆったり班とまーち班の合同で道の駅スタンプラリーを行うことになりました。この取り組みの目的として、以下の4点を念頭に置いて計画をしました。1つ目は「スタンプラリーを作成し、道の駅にあるスタンプを各所で押し、一年を通じて連続性のある取り組みとする」2つ目は「ゆったり班、まーち班合同で取り組み、普段とは異なる集団での活動の機会とする」3つめは「季節を感じることが出来る機会とする」4つ目は「金銭を使用し、物品を購入する機会とする」です。

4月22日(金)に第1回目の道の駅スタンプラリーの旅が、「道の駅飛鳥」にて行いました。当日は雨の予報でしたが雨は降らずに晴れの中、出発することが

出来ました。陽射しも気温も気持ちいい中、飛鳥に到着。各班でスタンプラリーを先に押す班と道の駅販売所でお土産や自分が食べたいものを買う班で分かれました。お土産では「当地イチゴの「あすカルビー」や「古都華」、三輪そうめんなど様々な商品を買うことが出来ました。ご当地のイチゴを使ったシフォンケーキを買って食べるなかまもいました。スタンプラリーでは、様々なスタンプがある中から自分で押すスタンプを決めて事前に作成した手作りのスタンプラリーカードにスタンプを押すことが出来ました。一年を通して様々な道の駅に出向いて思い出をいっぱい作りたいと思います☆(波多江ひ)



スプリングカーニバル in はびきの園

今年度最初の土曜開所は『はびきの園スプリングカーニバル』と題し、園内で小さなお祭りを開催しました！昨年度は、コロナ禍でなかなかできなかった「食」の取り組みですが、感染防止に努めながら、班ごとに時間交代で模擬店ブースを回ったり、自分の物は自分で作ったりなどの工夫をしながら行いました。模擬店では、みたらし団子と綿菓子、ラムネの掴み取りの3つを回り、制作やゲーム形式の体験を楽しみました。

特にみたらし団子は和菓子屋さんにお借りした機材を使って、餅焼きと餡掛け体験をした後、焼きたてホヤホヤのお餅を堪能！なかま、職員一同「おいしい！おいしい！」と、みんな大満足でした。

コロナの収束はまだまだ見えませんが、はびきの園では感染予防に気を付けながら、今後とも工夫した取り組みを行っていきます。(寺村)

